

## 平成22年度水源地域活性化リーダー養成研修実施要領

### 1. 目的

水源地域は、水源を支える里として、また、日本の原風景や伝統文化を遺す地域として、維持、保全が不可欠ですが、過疎化、高齢化が進む中で、集落、地域社会の疲弊が進んでいる地域が多く、早急な活性化の取り組みが必要となっています。

本研修は、水源地域活性化に取り組んでいる講師による各種の事例紹介、リーダーとしての意見集約手法を学ぶワークショップ、受講生による事例発表・討議、先進的な現地活動事例の視察等を通じ、水源地域の活性化を担う地域リーダーの養成を図ることを目的としています。

### 2. 対象

水源地域活性化に係る地方公共団体職員及びNPO等の職員を対象とします(10名程度、受講希望者多数の場合は人数を調整)。

### 3. 研修日程

平成22年 12月 8日(水)～ 12月 10日(金) 2泊3日の合宿形式  
研修日程及び内容は別紙のとおりです。

### 4. 会場

大分県日田市大山町 独立行政法人水資源機構 大山ダム建設所

### 5. 実施主体

国土交通省土地・水資源局水資源部水源地域対策課

### 6. 修了証書の交付

研修修了者には、国土交通省土地・水資源局水資源部長名の修了証書を交付します。

### 7. 参加申し込み

所定の申込用紙により、平成22年11月10日(水)までに、下記の事務局あてにFAX又は電子メールで申し込みください。なお、参加希望が多数となった場合は、民間からの参加者を優先しつつ、地域バランス等も考慮しながら、人数の調整を実施することとします。

### 8. 負担金等

旅費及び宿泊費・食費は各自負担とし、宿泊費・食費等として25,000円程度を研修の初日に徴収する予定です。

**【事務局】土地・水資源局水資源部水源地域対策課 添谷・恒藤**

電話 03-5253-8111(内線 31-315), 03-5253-8392(直通)

FAX 03-5253-1583

E-mail : tsunefuji-h23p@mlit.go.jp

## 平成22年度水源地域活性化リーダー養成研修プログラム(案)

12月

8日(水)	9日(木)	10日目(金)
	7:30 朝食	7:30 朝食
	8:15 移動(研修会場へ)	8:30 移動(研修会場へ)
	8:45 事例発表Ⅰ・質疑応答 「受講者の地域の課題と取組」 ＜コメンテーター＞ 安藤周治・松村紅実子	9:00 事例発表Ⅱ・質疑応答 「受講者の地域の課題と取組」 ＜コメンテーター＞ 安藤周治・松村紅実子・緒方英雄
	10:15 講義 「NPO活動による流域連携(仮)」 オフィス計都代表:松村紅実子	10:00 全体討議 ＜コメンテーター＞ 安藤周治・松村紅実子・緒方英雄
	11:15 講義 「下流域(福岡都市圏)との交流について(仮)」 日田市役所:河津振興局長	11:30 閉講式
	11:45 移動	
12:00頃 日田駅 集合	12:00 休憩・昼食 地元素材料理と物販の取組	12:00 移動
	12:50 移動	12:30 日田駅 解散 (送迎車両は豆田町へ移動)
13:00 移動(ダム建設所へ)	13:00 大山ダム工事現場 「大山ダム水源地域ビジョンについて」 大山ダム建設所:住谷審議役 他	12:45 豆田町散策 1.5h程度(自由参加) ※観光パンフ(観光協会配布)
13:30 開講式:オリエンテーション 開講挨拶:大山ダム建設所所長	13:45 移動	↓
13:45 講義 「リーダーとしての意見集約方法」 NPOひろしまね理事長:安藤周治	14:00 現地・講義 三隈川交流センター(朝霧の館) ・「よみがえれ水郷ひた～子どもたちに泳げる川を!～(仮)」 NPOひた水環境ネットワークセンター ・「水源地域の特性を活かした観光の取組」 日田市観光協会	14:15 集合(送迎車両で日田駅へ)
	15:30 移動	14:30 日田駅 解散
	15:50 現地・演習 「大山町地区の取組～水源地域の先進事例～(仮)」等	
16:45 休憩	・夢工房の取り組みについて ・ひびきの郷 施設見学 ・体験工房での演習・体験	
17:00 講義 「ダム建設と地域創造～大山町の挑戦～(仮)」 ひびきの郷総支配人:緒方英雄		
18:00 移動	18:30 移動	
19:30 夕食	19:00 夕食・交流会 水辺の郷 おおやま(道の駅 おおやま)	

※研修会場:大山ダム建設所 宿泊:ひびきの郷(お宿あさもや)を予定

※研修内容は諸事情により変更することがあります。

## 平成22年度水源地域活性化リーダー養成研修内容（案）

### （1）講義「リーダーとして必要な意見集約手法」

簡易KJ法の演習を経て、様々な意見を短時間にまとめ上げる手法を習得して頂きます。  
また、講師の経験を基に少数意見に対する対処法等を披露して頂きます。

（講師：NPO ひろしまね理事長 安藤周治氏）

### （2）講義「NPO活動による流域連携（仮）」

大分県を拠点にした流域活動の取組、また風の郷総支配人としての経験、また各種の地域活性化の活動による成果、そこに至るまでの苦労や工夫等を披露して頂きます。また、これから地域興し・流域連携のための取組を進めようとする者に必要な心構え等を指摘して頂きます。

（講師：オフィス計都代表 松村紅実子氏）

### （3）講義及び現地実習「大山ダム水源地域活性化への取り組み（仮題）」

日田市役所、(株)おおやま夢工房、地元NPO、観光協会等の取組概要や課題について、現地活動を通じた説明を受け、その手法を学びます。

（講師：おおやま夢工房取締役総支配人 緒方英雄氏 ほか）

現地実習 ・ひびきの郷、道の駅「おおやま」：特産品開発・販売等の取り組み  
・三隈川交流センター朝霧の館：川を利用した活性化の取り組み

講義 ・「下流地域（福岡都市圏）との交流について（仮）」：日田市役所  
・「よみがえれ！水郷ひた～子どもたちに泳げる川を！（仮）」

：NPOひた水環境ネットワークセンター

・「水源地域の特性を活かした観光等の取り組み」：日田市観光協会

役場の取組、地域住民主導の取組、官民一体となった取組等、様々な活動で地域活性に取り組んでいる事例を紹介します。

### （4）事例発表（受講生による地域の課題と取組の報告）

各研修生に地域の課題や実際に取り組んでいる活動について、10分程度の事例発表をして頂きます。各地域での実情等について知識を深め、共有を図ることで全体討議での議論へとつなげます。

このため、受講生は事例発表のための資料を事前に準備して頂きます。

（コメンテーター：安藤周治氏、松村紅実子氏、緒方英雄氏）

### （5）全体討議

研修生及び講師が、事例発表を踏まえフリーに議論をすることで研修生の知見を深めるとともに、各自の地域で抱える課題について今後の対応を検討し、抱負を発表する。

コメンテーターから議論への助言を行うとともに、研修生の発表した各地域での取組事例・抱負を踏まえ、講評を行うことで今後の活動に対するアドバイスをを行う。

（コメンテーター：安藤周治氏、松村紅実子氏、緒方英雄氏）

## 講師紹介

(講師：NPO ひろしまね理事長 安藤周治氏)

平成3年より現職。国土庁過疎問題懇談会委員、地域振興アドバイザー等を歴任。中国地方を中心に、幅広い人材交流活動を通じ実践的な地域づくり活動を行うとともに、全国で地域づくり活動の指導・講演等を行っている。現在、総務省過疎問題懇談会委員、広島県男女共同参画審議会委員等を勤める。

平成12年より水源地域対策アドバイザー。

(講師：オフィス計都代表 松村紅実子氏)

昭和49年よりフリーアナウンサー、コピーライターとして独立。大分を拠点として、全国各地で流域ネットワークづくりに向けての講演活動等を積極的に行っている。現在、(特)豊前の国建設倶楽部監事、九州流域ネットワーク会議情報委員等を勤める。

平成12年より水源地域対策アドバイザー。

(講師：おおやま夢工房取締役総支配人 緒方英雄氏)

平成14年にオープンした総合観光施設「豊後・大山 ひびきの郷」総支配人。また、施設の管理・運営をする第3セクター「(株) おおやま夢工房」取締役総支配人。

「一村一品運動」の発祥の地である旧大山町役場において広報・企画などで活躍。CATVによる農村の情報化、全国梅干しコンクールを手がけた。また、特産品の高付加価値化や、都市住民との多様な交流、産官学の境界を越えた連携・協働、そのための株式会社おおやま夢工房の設立に尽力。定年を目前に退職、新天地である「ひびきの郷」の運営に力を注ぐ。

(講師：NPO ひた水環境ネットワークセンター理事長 園田匠氏)

ひた水環境ネットワークセンターは「永遠の水と緑の郷を目指し、そのための情報交換と人的交流の促進を図り、日田市民及び筑後川流域圏に対して環境の保全に関する事業を行い、環境の向上・文化の発展に、寄与すること」を目的として平成4年に設立、平成14年にNPO法人格を取得。

「子どもたちに泳げる川を！」をキャッチフレーズに、ダム開発により減った水量を増やすための三隈川水量増加運動、リバーフェスタ in 三隈川、洗濯キャラバン、子どもが遊べる親水空間「台霧の瀬」づくりプロジェクトなど、多彩な活動を行っており、それらの活動が高く評価され、平成18年に環境大臣による地域環境保全功労者表彰を受賞。